特集

基本計画が策定されました！
みんなでつくる道の駅

今年2月、住民ワークショップの成果品として夢や期待を形にした「基本構想」ができあがり、整備の目的や候補地選定の経緯、道の駅の機能について広報3月号の特集でお知らせしました。この度、さらに具体的な事業計画となる「基本計画」を策定し、新たに決まった基本コンセプトや名称、施設配置計画等を取りまとめましたので、その概要をご紹介します。なお、基本計画の全体内容につきましては、佐川町ホームページをご覧ください。

基本コンセプト　「植物が中心にある町」

佐川町の独自性や強み（地質、牧野、林業）、計画地周辺の環境、進めてきたまちづくりの方向性、さらに住民ワークショップの意見を加え、凝縮されたコンセプト「植物」を中心にみんなで道の駅を作っていきます。

植物が中心にある町、佐川町の道の駅の予定地は、自然豊かな環境で周りを森に囲まれた、のどかでとても広い空間にあります。

また佐川町は、有名な植物学者 牧野富太郎博士のふるさとでもあり、植物を愛する風土が根付いています。

「まきのさん」のように自然を楽しむ人々が集う道の駅。山も森も草花も、野菜も土も、すべては植物につながります。

道の駅の名称が決定！

まきのさんの
道の駅
佐川

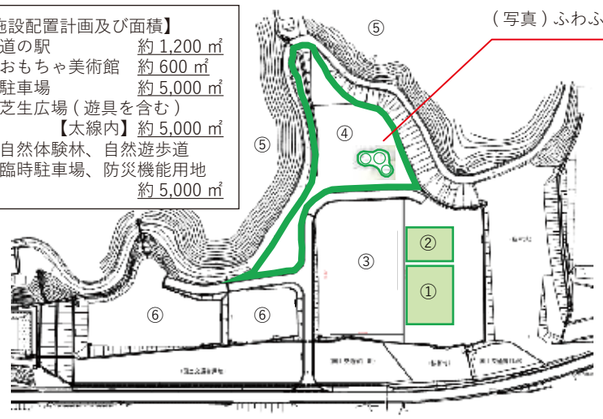
※仮のデザインです。

植物が中心にある町。
草木に関心を寄せる町。
来訪者に土地のものを売るだけではなく
町民の豊かな生き方を表現できる場所。
町の理念が漂う場所でありたい。
生涯学習の場として位置づける。

運営コンセプト　「ごちそう佐川」

かつてエドモンドナウマン博士が訪れたことから地質学発祥の地とも呼ばれる佐川町。この町には地層のごとく、たくさんのご馳走（ちそう）が折り重なっています。馳走とはおもてなしの心。佐川ならではの「ごちそう」で皆さんを温かくもてなします。

【施設配置計画及び面積】
①道の駅　約 1,200 ㎡
②おもちゃ美術館　約 600 ㎡
③駐車場　約 5,000 ㎡
④芝生広場（遊具を含む）
【太線内】約 5,000 ㎡
⑤自然体験林、自然遊歩道
⑥臨時駐車場、防災機能用地
約 5,000 ㎡



（写真）ふわふわドームイメージ

休憩機能
駐車場 / トイレ /
休憩施設（すべて 24 時間対応）

情報発信機能
道路交通・災害情報（24H）/
観光案内 / 地域の催し等魅力発信

備えるべき機能と配置計画

地域連携機能
郷土料理等の食堂 / 産直、加工品、土産 /
体験型観光施設 / 公園、交流広場

防災拠点機能
応急時（避難所、備蓄品、非常電源）/
復旧時（自衛隊、警察、消防の広域活動拠点）

広報さかわ
9月号
令和２年９月１日 発行

今月の表紙

森を育て、森の恵みを感じてもらう体験講座「親子で木こり体験＆木のイスづくり」の様子。第２回は 11 月に開催予定です。また、初心者向けの「チェーンソー研修」も 10 月に開催予定です。詳細は、産業振興課 22-7724 まで。

PICK UP CONTENTS

P２　[特集] みんなでつくる道の駅
P６　かわせみからのお知らせ
P８　子育て・健康応援ページ
P10　高北病院
P11　お知らせ
P20　さかわ発明ラボnews
P21　さかわ観光協会
P22　ボタニカルニュース
P23　青山文庫だより & 文芸
P24　としょかんだより
P25　学校だより-佐川高等学校-

植物が中心にある町、佐川町にできる道の駅を展開するにあたって、こんな道の駅になったらいいな！というアイデアをいくつかピックアップしました。ネーミングや内容は企画（案）ですので、すでに始まっているものやこれから作っていくものなどさまざまですが、多くの町民の皆さんに関わっていただき、植物を育てるように「まきのさんの道の駅」を一緒に育てていきましょう。

物販

地元商品が 60% あれば全体印象が「佐川」産となる。
ここが大事。仕入れ商品があるとしてもそのチョイスに一定のガイドが必要！

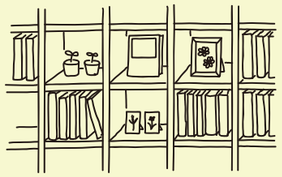
まきのさんのごちそう（地層）シリーズ

特異な地質構造体に位置する佐川にちなんだブランド。
ごちそうシリーズ。
ごちそうサンド / ごちそう鰻重 / ちそうフィーユ
ちそうクーヘン / 山椒もち / 山椒みそ など。
レベルアップが必要！

まきのさんの台所（食堂）

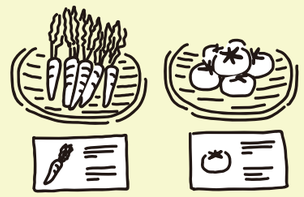
「食べるところ」ではなく
「作るところ」を表すネーミングにすることで、
牧野さんの研究のようにおいしさを生み出すワクワク感を、
食堂のコンセプトにしたい。
まきのさんのお弁当 / まきのさんのお惣菜 / まきのサンド
まきのさんのいちごミルク / まきのさんのいちごミルク・生
まきのさんのグリーンソフト

まきのさんの本棚



食堂の一角に、牧野さんの関連本、資料コーナーを！
ミュージアムショップ的なスペースの検討。
牧野植物園の協力も。

まきのさんの野菜市場



いろんな時代の地層→多様な植物→野菜
適地適菜の佐川。ケミカルを減らした野菜を物販のメインとして販売する。

さかわ地質館　5 億年前の地層

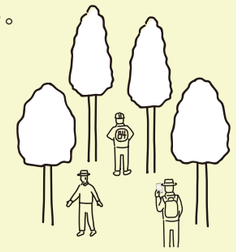
特異な地質構造体に位置する佐川。大切なコンテンツだが、展開しにくい。
ストイックな専門領域のコアなオーディエンスをうまく取り込み、
特別な場所としてのイメージをむしろ積極的に出して行く。
町が立体的になる。

まきのさんの道の駅 佐川

※仮のデザインです。

さかわ 84 の森

町民自ら間伐する「自伐」により
隣接する山の手入れをする。
「人」と「森」が遠い関係にあるニッポン。
「さかわ 84 の森」と名付け、
人が散策する森を作る。



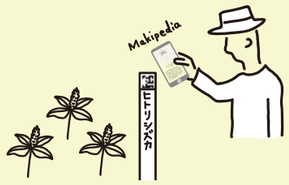
雑草という名の植物はない

デジタルアプリ
「Makipedia」

佐川町が作るオリジナルアプリ。
QR コードで牧野植物の解説・ストーリーを閲覧できる。

牧野公園

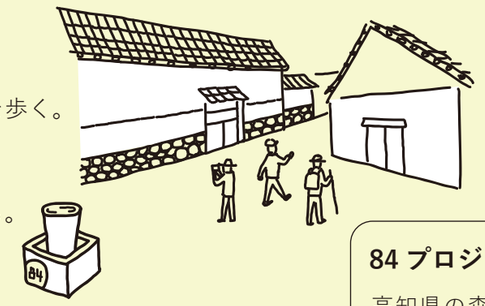
公園を散歩すれば、
野の花の名前がわかる公園
Makipedia を使いながら、
野の花インストラクターが
「まきのさんの野の花ツアー」を実施。



まきのさんの花工房

牧野さんにちなんだ四季折々の花を栽培し、
全国に宅配便でお届けするまきのさんの「花便り」。
花専門、宅配用のパッケージを開発し、
宅配システムを作る。

酒蔵ウォーキング



酒蔵の風景がある
楽しい街並み「佐川」を歩く。
84 ひのきの 1 号升で、
酒の気分で給水しよう！
酒の本場で気分だけでも。

84DIY 工房

町内外の人が木の加工ができる工房
さかわ発明ラボや民間企業の協力により
木工加工関連のプロジェクトを集積し
「おもちゃミュージアム」と連動させる。

84 おもちゃミュージアム

高知の 84 材を使ったおもちゃとなると
さらにミュージアムの意味が出てくるだろう
おもちゃミュージアムの冒頭に
84 と付けたネーミングとしたい

84 プロジェクトとは

高知県の森林面積率は 84％で日本一だが、「山ばかりで何もない高知県…」ではなく、「84％も森林がある！」と逆手にとって前向きに明るくブランド化し、ロゴマークを使った商品開発などを行っている。今年度からは、環境省の事業にも採択され、この取り組みも高知県全体へ広がりを見せている。
https://www.kochi-84project.jp/